

報道関係者各位
プレスリリース

No. BM210630-01
2021年6月30日
株式会社リンク

リンク、古いITシステムが抱えるさまざまなリスクを軽減する 新サービス「ベアケア」を提供開始

株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治）は、2021年6月30日（水）より、古いシステムやITインフラの技術的な延命をサポートする新サービス「ベアケア」の提供を開始します。

経済産業省が2018年に公開したDXレポート内で「2025年の崖」と名付けて警鐘を鳴らしており、日本企業のITシステムにおける課題の中心には、老朽化したシステムの存在があります。そうしたレガシーシステムには早急な刷新が必要ですが、IT人材も不足している中、一朝一夕には対応できないことは事実です。

老朽化したシステムとそれを支えるITインフラには、ハードウェア機器のサポート切れによる障害リスクや、OSのサポート切れによるセキュリティリスクなど、システム刷新まで現状を維持するには多数のリスクが存在しています。こうした課題に対し、「ベアケア」は老朽化したシステム・ITインフラに関する保守サービスを提供します。

本サービスでは、メーカーサポートが切れてしまったOSや、サーバ・ネットワーク機器などに対する第三者保守を提供するほか、セキュリティ対策ソリューションの導入・運用、クラウドサービスへのリプレース提案など、ユーザの状況・要望に応じて幅広い選択肢を提案します。

これによりユーザは、老朽化したシステムを刷新するまでの期間、既存システム維持に関するリスクを軽減することができます。同時に、リーズナブルな第三者保守を活用することでコストを圧縮し、戦略的IT投資を側面からサポートします。

■ベアケアが提供するサービス（一部抜粋）

- ・サポート切れOSの延長サポート
- ・ハードウェア延長保守サービス
- ・脆弱性診断サービス
- ・各種セキュリティ対策ソリューションの導入・運用代行
- ・インフラのリプレース提案

また、サービス提供開始のキャンペーンとして、現状のシステムにどの程度リスク（脆弱性）があるか可視化するため、プラットフォーム・アプリケーションの脆弱性診断を1回1万円の特別価格で提供します。

■脆弱性診断キャンペーン 提供内容

(税別)

サービス	内容	初期費用
脆弱性ツール診断（シンプル・システムスキャナー）	診断単位：1FQDN（ページ数無制限） 診断回数：1回 診断項目数：35項目 結果報告：自動出力レポート	通常価格 75,000円 (※2回診断) →特別価格 10,000円 (※1回診断)

※ キャンペーン特別価格の適用は、原則として OS サポート切れ（EOL）に関する課題をお持ちのお客さまを対象とさせていただきます。

※ 本キャンペーンによる脆弱性診断は、原則としてお客さまあたり1回限りさせていただきます。

■ベアケアのサービスサイト

<https://barecare.jp>

リンクは、今後もサーバ運用に関するナレッジ・ノウハウをもとに、ユーザ企業の IT システム・インフラに関わる負担を軽減し、ビジネスの変革をサポートするサービスを提供してまいります。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティングを軸として、クラウド型ホスティングやクラウド型テレフォニーサービス、セキュリティプラットフォームサービスなど、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。

事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社リンク マーケティング部 担当：井上

TEL：03-5785-2255 / FAX：03-5785-2277 / Email：marketing@link.co.jp